


「医療総合保険」および「医療総合補償特約付傷害総合保険」

重要事項説明書の補足事項

AIG 損害保険株式会社

この補足事項では、医療総合保険および医療総合補償特約付傷害総合保険「重要事項説明書」において  マークを記載した事項およびその他ご留意いただきたい事項についてご説明しています。重要事項説明書とあわせてご確認ください。

1. 保険金をお支払いする場合に該当したときの手續

- （1）保険金をお支払いする場合に該当したときは、30日以内に取扱代理店・扱者または弊社までご連絡ください。正当な理由なくご通知がない場合や、知っている事実を告げなかった場合または事実と異なることを告げた場合には、それによって弊社が被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。
- （2）保険金請求権には時効（3年）がありますので、ご注意ください。
- （3）保険金を請求する際は、例えば次表のような「保険の約款」に定める書類のうち、弊社が請求した書類を提出していただく必要があります。なお、お支払いする保険金によって必要書類が異なります。

確認の内容	必要書類の例
本人・請求意思の確認	保険金請求書、印鑑証明書 など
保険事故発生の確認	交通事故証明書 など
保険金を支払うべき額の確認	診断書、入院日・入院日数などを記載した病院または診療所の証明書、治療費領収書 など
被保険者であることの確認	健康保険証（写）、住民票 など
その他	同意書（医療機関照会用）、運転免許証（写）、戸籍謄本 など

- （4）弊社では、保険金のご請求手續が完了した日からその日を含めて30日以内に保険金をお支払いすることとしておりますが、「保険の約款」に定める特別な調査などが必要な場合には、これを延長することがあります。詳しくは取扱代理店・扱者または弊社までお問い合わせください。

2. 代理請求人制度

被保険者が保険金を請求できない状態にあり、かつ保険金を受け取るべき代理人（親権者、成年後見人など）がいない場合に、次の①～③の方により保険金を請求いただくことができます。

- ①被保険者と同居または生計を共にする配偶者<sup>(※1)</sup>
  - ②被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族<sup>(※2)</sup>（①の配偶者<sup>(※1)</sup>がいない場合または①の配偶者<sup>(※1)</sup>に保険金を請求できない事情がある場合）
  - ③①以外の配偶者<sup>(※1)</sup>または②以外の3親等内の親族<sup>(※2)</sup>（①、②の方がいずれもいない場合または①、②の方がいずれにも保険金を請求できない事情がある場合）
- （※1）法律上の配偶者に限ります。  
（※2）法律上の親族に限ります。

3. 特約の終了

次表の特約<sup>(※)</sup>については、保険期間通算での保険金支払が「特約が終了する場合」に該当した場合、その特約は、保険期間の途中であっても終了します。特約が終了すると、その特約の保険金はお支払いできなくなりますが、ご契約は、他の特約が存続している限り、引き続き有効です。（被保険者の方が死亡された場合は、ご契約は失効となります。）

（※）医療総合補償特約付傷害総合保険では、「先進医療費用補償特約」のみ対象となります。

特約の名称	特約が終了する場合	終了後に支払われなくなる保険金
入院医療保険金および手術医療保険金支払特約	保険金支払の対象となった入院日数が通算支払限度日数(1,095日)に達した場合	入院医療保険金 手術医療保険金

先進医療費用補償特約	保険金の支払額が通算で2,000万円となった場合	先進医療費用保険金
ガン入院保険金支払特約	保険金支払の対象となった入院日数が通算支払限度日数(1,095日)に達した場合	ガン入院保険金
特定疾病診断給付金支払特約	対象となる全ての種類の特定疾病について保険金が支払われた場合（ガンを補償対象とする場合を除く）	特定疾病診断給付金
通院医療保険金支払特約	保険金支払の対象となった通院日数が通算支払限度日数(500日)に達した場合	通院医療保険金
回復支援費用補償特約	保険金の支払額が通算で保険金額に達した場合	回復支援費用保険金
ガン入院通院治療費用補償特約	保険金の支払額が支払限度額に達した場合	ガン入院通院治療費用保険金

4. 保険期間の途中で公的医療保険制度の改正などがあった場合

- （1）保険期間の途中で公的医療保険制度の改正または医療環境・医療技術の変化があった場合で、弊社が特に必要と認めるときは、弊社は、主務官庁の認可を得て、ご契約をその改正または変化に適した内容に変更することがあります。この場合、ご契約者に対して書面でお知らせします。
- （2）保険期間の途中で公的医療保険制度の改正があり、自己負担割合が引き上げ（例：3割負担→5割負担）になったとしても、「入院治療費用補償特約（保険金）」または「ガン入院通院治療費用補償特約」の「型」が3型であれば、支払額は「診療報酬点数×3円+食事療養標準負担額等」であり、治療費の負担額の増加に対しては、保険金は支払われません。

5. 保険証券の確認・保管

- （1）ご契約後、1か月経過しても保険証券が到着しない場合は、弊社取扱営業店にご照会ください。
- （2）保険証券は、保険契約の内容が記載されている重要な書類です。内容をご確認いただき、記載内容が事実と異なる場合は、直ちに取扱代理店・扱者または弊社までご連絡ください。
- （3）保険証券は大切に保管してください。

6. ご契約の復活

個別加入型のみ

第2回目以降の保険料のお支払いがなくご契約が失効した場合でも、失効の日から6か月以内は、所定の手続をお取りいただいた上で、ご契約の復活を請求することができます。ただし、ご契約が復活した場合であっても、弊社は、未払込保険料の領収前に被った病気・ケガについては保険金をお支払いしません<sup>(※)</sup>。詳しくは取扱代理店・扱者または弊社までお問い合わせください。

（※）ご契約が失効する前に保険金をお支払いする要件を満たしていた場合は、保険金をお支払いします。